022614	没落期に於ける資本主義経済情勢とインフレーシヨンの効果・日本経済界改造私案概要	三宮維信	言語	2	56	28
022615	日本新経済策	三宮維信	言語	2	56	28
022616	大日本主義的労働運動及農民運動の新綱領	三宮維信	言語	2	56	28
022617	非常時に於ける国家改造計画案に対する批判	三宮維信	言語	2	56	28
022618	資本主義的経済制度下に於ける国民生活：世界平和に対する日本の使命！国民無産大衆生活権の確立は刻下の急務なり	三宮維信	言語	2	56	28
022619	愛国運動現勢	三宮維信	言語	2	56	28
022620	日本財閥の実質を語る	三宮維信	言語	2	56	28
022621	戦争景気はどうなるか？	岩本寿	言語	2	56	28
022622	玄海：歌集	吐田勝義	言語	2	56	28
022623	強力内閣の待望と顔ぶれ	近藤素明	言語	2	56	28
022624	非常時日本を背負ふ人々	近藤素明	言語	2	56	28
022625	東亜の風雲急激日本を繞る国際情勢	安藤富士雄	言語	2	56	28
022626	大東亜戦と皇国の理想	安藤富士雄	言語	2	56	28
022627	燃料試験法及石炭購買法	若林金五郎	言語	2	56	28
022628	石炭の経済的価値と其の利用法	若林金五郎	言語	2	56	28
022629	麻生久と中野正剛：社大東方合同劇の顛末物語	藤戸辰雄	言語	2	56	28
022630	国民教育講堂訓話	高橋節雄	言語	2	56	28
022631	第四十三潜水艦記念帖	高橋節雄	言語	2	56	28
022632	南へ南へ：高利貸英国の滅亡	旗斗南	言語	2	56	28
022633	利潤統制と切符制の実施	岡田勝人	言語	2	56	28
022634	これからの生活	岡田勝人	言語	2	56	28
022635	資本主義のからくり	青木敏	言語	2	56	28
022636	自由主義より統制主義へ	青木敏	言語	2	56	28
022637	法律相談婦人の味方	飛石久太郎	言語	2	56	28
022638	天皇家族主義	米川三雄	言語	2	56	28
022639	天皇家族主義	米川三雄	言語	2	56	28
022640	蒋介石政権は今後どう抗戦するか	山科潜	言語	2	56	28
022641	荒れ狂ふ共産革命：迫り来る世界の脅威	山科潜	言語	2	56	28
022642	明るい社会の建設に就て：我等の使命と其心得	岡田義重	言語	2	56	28
022643	軍部は男、政党は女	鳥居鈴雄	言語	2	56	28
022644	民政社大の内面暴露	赤崎寅蔵	言語	2	56	28
022645	現代親分乾分物語	藤原達策	言語	2	56	28
022646	列強の関心集ふ	藤原達策	言語	2	56	28
022647	東京市政の危機	鴫原和夫	言語	2	56	28
022648	通俗産業組合講義	村上晋	言語	2	56	28
022649	大正武道家名鑑	村上晋	書	2	56	28
022650	イタリアは何故起たぬか	秋岡武平	言語	2	56	28
022651	軍事上に於けるスパイの重要性と全世界に張られたスパイ網の真相	三木昌	言語	2	56	28
022652	日英開戦はいつ始まるか	鷹橋聖一	言語	2	56	28
022653	極東を覘ふ英国の魔手	鷹橋聖一	言語	2	56	28
022654	ソ聯邦・極東の軍備を探る	加田顕治	言語	2	56	28
022655	児童虐待防止法の概念：附・児童虐待防止法全文	小滝新司	言語	2	56	28
022656	隣邦ソ聯の現状	小野勝三郎	言語	2	56	28
022657	新潟県の果樹を知るには	安藤安孝	言語	2	56	28
022658	噴火山上に躍る人々	黒田正隆	言語	2	56	28
022659	世界の景気はいつ爆発するか	黒田正隆	言語	2	56	28
022660	極東の今日戦争か平和か	黒田正隆	言語	2	56	28
022661	列国の経済戦	黒田正隆	言語	2	56	28
022662	ホテル経営	大塚常吉	言語	2	56	28
022663	支那をめぐる日英の対立戦	柳原隆	言語	2	56	28
022664	山陰迷妄迷信俗問題：付・中産階級精神救済論	福間常信	言語	2	56	28
022665	少国民海軍博覧会：大観艦式記念	酒井茂吉	言語	2	56	28